

目次

刊行にあたって

第1章 今後のエネルギー政策

はじめに	3
I. 我が国のエネルギーを巡る状況	5
1. エネルギー政策の基本目標 (安定供給から安定供給・環境保全・効率化の同時達成へ)	5
2. 最近の環境変化	7
II. 我が国が直面している課題	11
1. 我々の生活変化により伸び続けるエネルギー消費の合理化の必要性	11
2. 新たな環境変化の下でのエネルギー供給源の多様化の必要性	12
3. アジア地域としてのエネルギー安定供給確保に向けた取組の必要性	13
III. 目指すべきエネルギー需給像(長期エネルギー需給見通し)及びそれを実現する対策	14
1. 基準ケースの概要	14
2. 基本目標実現のための今後の具体的な対策	17
3. 目標ケースの概要	25
おわりに	29
(別紙) 長期エネルギー需給見通し概要	31
(参考)	33

第2章 エネルギーセキュリティ

はじめに	73
I. 我が国のエネルギーセキュリティに係るリスクの現状認識	76
1. 我が国及び世界のエネルギー情勢における状況の変化	76
2. 中東地域及びアジア地域における国際的な政治情勢の変化	85
3. 諸外国における最近の動向	87
4. エネルギー供給源リスクの定量的評価分析	90

II. 今後のエネルギーセキュリティ確保のあり方	91
1. 基本的な視点	91
2. 今後のエネルギーセキュリティ対策のあり方	94
III. 更なる課題	115
(参考) エネルギー供給源リスクの定量的評価分析試算の概要	117

第3章 今後の省エネルギー対策

はじめに	135
I. 今後の省エネルギー対策の検討に当たっての基本的考え方	136
1. 継続性を持った省エネルギー対策の視点	136
2. 国民の省エネ行動を支援する視点	137
3. 課題への的確な対応と他政策との連携に係る視点	137
II. 今後の省エネルギー対策の具体的方向	139
1. 部門別対策の方向	139
2. 部門横断的対策の方向	149
3. 対策の省エネ効果及びその位置付け	152
III. 国際的な協力の推進	154
おわりに	155
(添付資料)	156

第4章 今後の新エネルギー対策

はじめに	218
I. 新エネルギー導入の現状	220
1. 全般的な新エネルギー導入の状況	220
2. 発電分野に係る供給サイドの新エネルギーの導入状況	221
3. 熱利用分野に係る供給サイドの新エネルギーの導入状況	223
4. 需要サイドの新エネルギーの導入状況	224
5. 欧米諸国における状況	226
II. 新エネルギー導入の意義と課題	228
1. 新エネルギー導入の意義	228

2. 新エネルギー導入に際しての課題	229
Ⅲ. 新エネルギーの対象範囲の見直し	233
1. 新エネルギーの対象範囲の見直し	233
2. 再生可能エネルギーとしての整理	234
Ⅳ. 新たな新エネルギー導入目標	235
Ⅴ. 新エネルギー導入に向けて各主体に期待される役割	238
1. 新エネルギー関係事業者 (機器・システム製造・流通・販売事業者、エネルギー供給事業者)	238
2. 地方公共団体	240
3. エネルギー消費者としての国民、事業者	241
Ⅵ. 今後の新エネルギー導入に向けた国の施策のあり方	242
1. 導入段階における支援	242
2. 技術開発・実証段階における支援	245
3. 環境整備	248
4. 普及啓発等	250
5. 関係行政との連携	251
Ⅶ. 国際的な協力の推進	252
おわりに	253
(参考資料)	262

第5章 天然ガス政策

はじめに	305
I. 天然ガスの重要性	306
1. エネルギーセキュリティの強化	306
2. 環境への影響	307
3. 新たな利用形態の可能性	307
II. 天然ガス利用の現状	308
1. 一次エネルギーにおけるシェア等	308
2. 供給地域	308
3. 供給形態	309
4. 供給主体	309

5. 需要先	310
Ⅲ. 天然ガス需要の見通し	311
1. 我が国のエネルギー需給見通し（2010年度の目標ケース）	311
2. 利用拡大の可能性（2020年度）	312
3. アジアにおける天然ガスの需要動向	313
Ⅳ. 天然ガスの供給の確保	315
1. 供給可能プロジェクト	315
2. 我が国への天然ガスの安定供給確保	315
3. メタンハイドレート開発の推進	316
Ⅴ. 天然ガス利用拡大を図るための課題と対策	318
1. 価格引き下げと安定化	318
2. パイプライン等インフラ整備	321
3. 新たな利用形態の推進	325
4. 各部門における需要の拡大	327
5. その他	329
Ⅵ. サハリンプロジェクト	331
1. プロジェクトの位置付け	331
2. LNGによる供給	331
3. パイプラインによる供給	332
おわりに	335

第6章 原子力の技術基盤の確保

はじめに	341
Ⅰ. 原子力の技術基盤の現状及び評価	343
1. 分野別の現状及び評価	343
2. 原子力に係る研究開発投資等、人材の確保・育成の現状	354
Ⅱ. 原子力の技術基盤を確保するために必要な対応策	357
1. 国の行うべき対応策	357
2. 主として民間で行われるべき対応策	371
おわりに	375
(参考資料集)	381

